

開設講習名	【選択】パズルで鍛える論理的思考		講師	脇條 靖弘	
講習会場	山口大学吉田キャンパス		会場所在地	山口県山口市	
開設日	平成 29 年 7 月 1 日		時間数	6 時間	受講予定人数 30 人
受講者募集期間	平成 29 年 4 月 7 日～平成 29 年 4 月 15 日		履修認定時期	平成 29 年 8 月 10 日まで	
履修認定対象職種	教諭	主な受講対象者	小学校・中学校教諭		
受講料等総額	6,000 円	(うち受講料以外の経費)			
<p>【到達目標】 「かつ」、「または」、「～でない」、「真である」、「偽である」等の言葉の働きに注意し、論理的に筋道を立てて思考することができるようになる。</p>					
<p>【講習の概要】 論理は取り扱う事柄の内容には無関係で、どのような内容にも当てはまる。したがって、論理はあらゆる教科に共通の土台である。「論理的思考力」を磨くには、むしろ何の意味があるのか不明な内容について論理だけをたよりに筋道を立てて考えることが有用である。この講習では「嘘つきのパラドックス」に関連した論理パズルを題材に、論理的思考力を磨く訓練をする。</p> <p>(1) 騎士と策士の島</p> <p>この島のすべての住民は騎士か策士であり、騎士は本当のことだけを、策士はウソだけを言う。島の複数の住民の具体的な発言から、結論できることは何かを考える。</p> <p>(2) 犬／猫・歌手／ダンサーの島</p> <p>この島のすべての住民は歌手かダンサーであり、両方の人はいない。また、この島のすべての住民は犬派か猫派であり、両方の人はいない。犬派か猫派かはひと目で区別できる。</p> <p>犬派の歌手は本当のことだけを、犬派のダンサーはウソだけを言う。逆に、猫派の歌手はウソだけを、猫派のダンサーは本当のことだけを言う。島で出会った複数の住民の具体的な発言から、結論できることは何かを考える。</p> <p>(3) メタパズル</p> <p>他の人が問題を解けたり解けなかったりしたことを「知る」ことで、解けるパズルを「メタパズル」と言うことにする。いくつかのメタパズルを考える。</p> <p>(4) 認証騎士と認証策士のいる島</p> <p>この島は騎士と策士の島と似ているが、騎士と証明された騎士＝認証騎士と、策士と証明された策士＝認証策士がいる。島の複数の住民の具体的な発言から、結論できることは何かを考える。</p>					
<p>【評価の方法・評価基準】 評価の方法：筆記試験 評価基準：合格：論理的なパズルが解ける。 不合格：上記以外。</p>					
<p>【テキスト・参考文献】 講習当日に資料を配布予定。</p>					
<p>【受講者への伝達事項】 特になし。</p>					